

## インストールを始める前に

### 本マニュアルについて

このマニュアルでは、主に GaiaRX Ultimate ネットワーク版の新規インストール方法についてご説明します。

インストール中に必要になる Windows の操作方法、インストールについてのよくあるお問合せと回答、トラブル発生時の対処方法などにつきましては、製品 CD の「手順書」フォルダの中に「インストール FAQ」が別途用意されていますので、そちらをご参照下さい。

### 動作環境について

GaiaRX の動作には、以下の環境が必要です。

	サーバー	クライアント
OS	日本語 Windows Server 2003 SP2 以上 日本語 Windows Server 2008 SP2 以上 (Web Server を除く) 日本語 Windows Server 2008 R2 (Web Server を除く)	日本語 Windows Vista (SP2 以上) 日本語 Windows 7 (SP1 以上)
メモリ	推奨: 2GB 以上 最低: 1GB 以上	推奨: 1GB 以上 最低: 512MB 以上
CPU	推奨: Pentium4 3.0GHz 以上 または Core2 Duo2GHz 以上 最低: Pentium4 1.5GHz 以上	推奨: Pentium4 2.8GHz 以上 または Core2 Duo2GHz 以上 最低: Pentium4 1.5GHz 以上
ディスプレイ 解像度	1024 × 768 ドット以上	
ディスプレイ 表示色	High Color 以上	
ハードディスク	推奨容量: 2.5GB * 契約県数 最低容量: 1.2GB * 契約県数 例: 47 都道府県を契約した場合 2.5GB * 47 ≒ 120GB (BeingCabinet と同居した場合は 追加容量が必要です)	推奨容量: 10GB 以上 最低容量: 2GB 以上
CD-ROM ドライブ	お使いの OS で動作可能な CD-ROM ドライブ	
プリンタ	お使いの OS で動作可能なプリンタ	
ネットワーク環境	LAN または VPN などによる常時接続可能であることが必要です。 TCP/IP、HTTP、HTTPS、FTP での通信が可能であることが必要です。	

- ※ オペレーティングシステムのシステム要件が上記動作環境に書かれている以上のハードウェアの性能が必要な場合は、お客様が使用されているオペレーティングシステムのシステム要件を満たしている必要があります。
- ※ インストール後の容量は、データを保存するための空き容量を十分確保して下さい。
- ※ 全国の地域データをインストールした場合、1年度につき約 20GB 必要です。  
お客様の運用にあわせハードディスク容量をご準備下さい。
- ※ BeingCabinet へは圧縮したデータが保存されます。圧縮するとファイルサイズは約 10 分の 1 になりますので、GaiaRX で 120GB を想定する場合は、BeingCabinet 保存用+12GB 以上の空き容量が必要となります。
- ※ キャビネットプロテクトをご利用の場合は、BeingCabinet サーバーのインストールされているコンピュータに、プロテクトユニット接続用として、USB ポート × 1 が必要です。
- ※ 遠隔地同士の通信では通常操作において速度的な支障をきたす場合があります。  
必要に応じてサーバーの分散をご検討下さい。

- ※ 詳しい動作環境については、ビーイングのホームページをご参照下さい。
- ※ ウイルス対策ソフトを使用している場合は、GaiaRX 用にポートの解除等の作業が必要です。  
詳しくは、「インストール FAQ 4.インストール時の注意 ■ポート番号について」をご参照下さい。

## ■ 注意事項

- GaiaRXをインストールしたサーバーは、コンピュータ名の変更を行わないで下さい。
- GaiaRX起動時に接続するデータベースの判別や、BeingCabinet工事書庫サーバーの接続先判別に障害が発生します。
- ※GaiaRXにて使用するパソコン(サーバー、クライアント、BeingCabinet工事書庫サーバーのすべて)のコンピュータ名は、必ず「半角英数字」を使用して下さい。

### BeingCabinet について

- 『BeingCabinet』を使用して設計書や単価、歩掛データを共有することができます。GaiaRX ネットワーク版には、「BeingCabinet のシステム」が必要となります。BeingCabinet → GaiaRX サーバー → GaiaRX クライアントの順にインストールを行い、GaiaRX インストール前に BeingCabinet を利用可能な状態にして下さい。BeingCabinet のインストールについては別途、「BeingCabinet インストールマニュアル」をご参照下さい。
- インターネットプロテクトをご利用の場合は、インターネットプロテクトに対応したバージョンの BeingCabinet をインストールして下さい。

### インターネットプロテクトのインストールについて

- インターネットに接続していないと、インストールできません。
- コンピュータの日時を正しく設定して下さい。

### プロテクトユニットについて

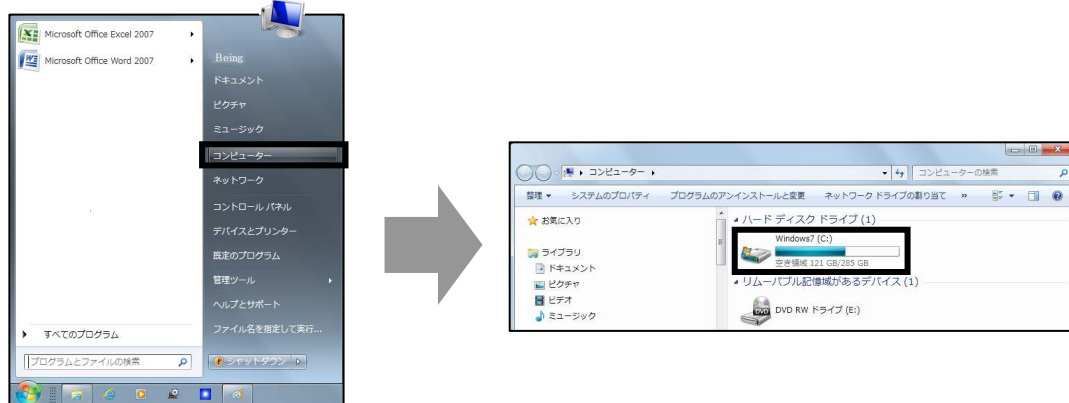
- キャビネットプロテクトでご購入の場合、「USB プロテクトユニット」が付属しています。BeingCabinet が動作しているコンピュータにプロテクトユニットを接続しておく必要があります。

### Windows のログインユーザーについて

インストール作業を行うには、Windows に Administrator 権限を持ったユーザーでログインする必要があります。ログイン中のユーザーの権限を確認する方法については、「インストール FAQ 1.Windows のログオンユーザーを確認する」をご参照下さい。

### ハードディスクの空き容量を確認する

本製品のインストールには、サーバーに推奨容量:2.5GB \* 契約県数 (BeingCabinet と同居した場合は、追加容量が必要です)、クライアントに推奨容量:10GB 以上の空き容量が必要です。  
詳細については、本マニュアル「[動作環境について \(P.1\)](#)」をご参照下さい。  
インストールしたいドライブの空き容量を事前にご確認下さい。標準設定では、システム/データともシステムドライブにインストールされますが、それぞれ任意のドライブに変更することもできます。  
空き容量は、[スタート]→[コンピュータ]の画面などで確認できます。



【Windows7】の場合

## インストールを始める

GaiaRX Ultimateのインストールでは、下記のプログラムがインストールされます。

- 1) プロテクトドライバ
- 2) SQL Anywhere
- 3) GaiaRX Ultimate システム (サーバー・クライアント)
- 4) GaiaRX Ultimate データ
- 5) 各種オプション、追加購入データ

(必須) 1)～3)はシステムCDからインストールします。4)はデータCDからインストールします。

(任意) 5)の追加購入いただいた各種オプションや単価データ等は、システムのインストール終了後に任意で追加インストールします。

※インターネットプロテクトの場合も、プロテクトドライバをインストールします。

## インストールを始める



起動しているアプリケーションをすべて終了します。

CD-ROM ドライブに「GaiaRX」のシステムCDをセットします。

CDが読み込まれると、自動的に「積算システム CD-ROM」の画面が表示されます。

[積算システム(クライアント)]または、[積算システム(サーバー)]をクリックすると、インストールを開始します。

以降、画面表示に従い先にお進み下さい。

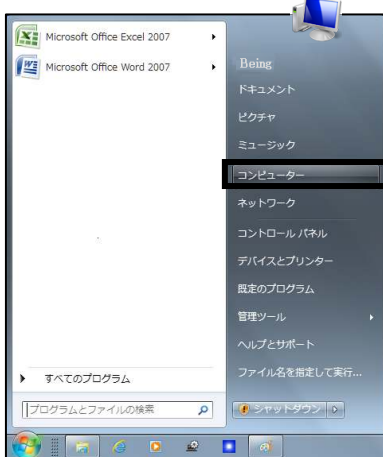
※クライアントをインストールする場合は、サーバー用のコンピュータにあらかじめGaiaRXサーバーがインストールされている必要があります。



<インストール画面が自動で表示されない場合>

[スタート]→[ファイル名を指定して実行]をクリックし、表示された画面の[参照]をクリックします。

CDドライブを選択し、CD内の「LaunchRX」を指定し、[OK]をクリックします。



【Windows7】の場合

<Windows Vista/Windows 7/Windows Server 2008の場合>  
 インストールを開始すると、「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されます。  
 [はい]をクリックし、インストールを継続して下さい。

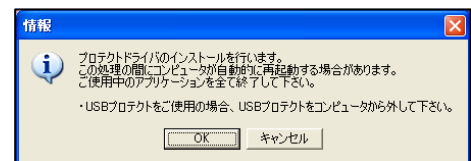


## プロテクトドライバのインストール

※弊社他商品をご利用の場合など、他システムでプロテクトを使用している場合、既にインストール済みの場合があります。その場合、プロテクトドライバのインストール画面は表示されません。

インストールを開始すると右図のようなメッセージが表示されます。  
 『USBプロテクト』を接続済みの場合、いったん取り外してから[OK]をクリックします。

※BeingCabinetをインストールしたコンピュータに、プロテクトを挿している場合、プロテクトドライバのインストール後、GaiaRXサーバー、GaiaRXクライアントにプロテクトの接続を行う必要はありません。



プロテクトドライバのインストール時に、コンピュータが自動的に再起動することがあります。

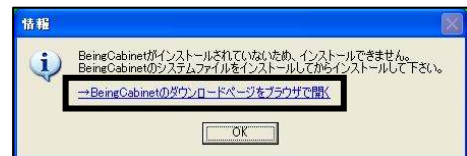
## SQL Anywhereのインストール

※弊社他商品をご利用の場合など、既にインストール済みの場合があります。その場合、SQL Anywhereのインストール画面は表示されません。

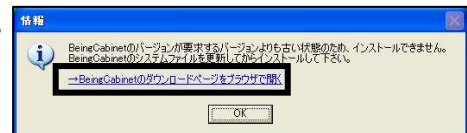
以降、画面表示に従いSQL Anywhereのインストールを行います。

### 注意点

◆BeingCabinetがGaiaRXサーバーにインストールされていない場合は、先に進むことはできません。BeingCabinetをインストールしてから、再度GaiaRXネットワーク版をインストールして下さい。



◆BeingCabinetのバージョンが古い場合も、先に進むことはできません。BeingCabinetのシステムファイルを更新後、再度GaiaRXネットワーク版をインストールして下さい。



◆表示される「情報」画面にて、[BeingCabinetのダウンロードページをブラウザで開く]をクリックすると、Being CabinetダウンロードHPよりBeingCabinet最新版のダウンロードを行うことができます。

◆SQL Anywhere インストール後、右図のようなセキュリティ警告が表示されることがあります。

名前: Adaptive Server Anywhere Database Engine  
 発行元: Sybase Inc.  
 であれば、セキュリティ上の問題はありません。  
 [ブロックを解除する]をクリックして下さい。



◆Windows Vistaの場合、インストール途中で「セキュリティの重要な警告」、または「アカウント制御」の画面が表示されることがあります。内容をご確認下さい。

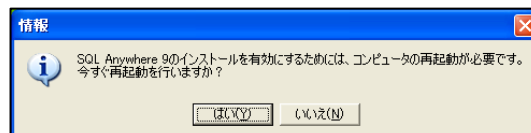
[OK]をクリックすると、SQL Anywhere 9 のインストールを開始します。

※Windows 再起動時にセットアッププログラムがブロックされることがあります。ブロックを解除してインストールを続行して下さい。




## コンピュータの再起動

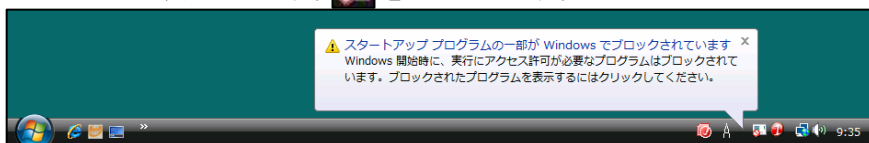
SQL Anywhereのインストール終了後、コンピュータが自動的に再起動、または、右図の画面が表示されます。  
[はい]をクリックし、再起動を行います。



再起動が必要ない場合は、GaiaRX Ultimateのインストール画面が表示されます。そのまま次のインストールへお進み下さい。

### <ブロックの解除方法>

Windows再起動後に画面下部にメッセージが表示されます。 をクリックします。



[ブロックされたプログラムの実行] - [GaiaRX Install Launcher] をクリックし、GaiaRXのインストールを継続します。



インストールを継続する際、「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。

[はい]をクリックします。

以降は、画面表示に従い、インストールを行います。

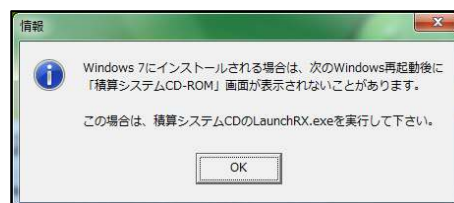


### <Windows7をお使いの場合>

右図の画面が表示されます。

Windows 再起動後に「積算システムCD-ROM」画面が表示されない場合は、積算システムCDの LaunchRX.exe を実行して下さい。

※「積算システム CD-ROM」画面が表示されない場合、本マニュアル「[インストール画面が自動で表示されない場合 \(P. 3\)](#)」をご参照下さい。



## GaiaRX Ultimate システムのインストール

続いて、積算システムのインストールを行います。

コンピュータの再起動後、右図の画面が表示されます。  
サーバーの場合は、[積算システム(サーバー)]  
クライアントの場合は、[積算システム(クライアント)]を  
クリックし、インストールを開始します。



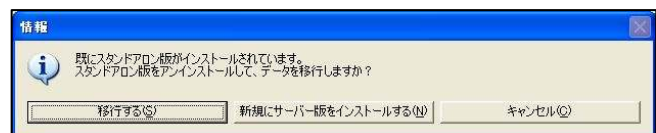
※再起動後、インストール画面が表示されない場合は、本マニュアル  
「[インストール画面が自動で表示されない場合 \(P. 3\)](#)」をご参照下さい。

「プロテクトドライバ」と「SQL Anywhere」はインストール済みのため、処理をスキップしてこの画面から再開されます。以降は画面表示に従い、インストールを行います。

### 注意点

- ◆インストール中に、使用許諾契約への同意を求める画面が表示されます。使用許諾約定書は商品パッケージに同梱されていますので、内容をよくお読み下さい。
- ◆インストール先のドライブ、フォルダを変更できます。
  - ・システムとデータのインストール先を別々に指定できます。
  - ・GaiaRXで使用する容量とは別に、Windowsのインストールドライブに50MBの空き容量が必要です。
  - ・フォルダを変更する場合は、必ずGaiaRX専用のフォルダを作成して下さい。
  - ・システムとデータのインストール先フォルダは別にして下さい。同じフォルダ、親子関係のフォルダを指定しないで下さい。
- ◆キャビネットプロテクトの場合  
キャビネットプロテクトの場合、GaiaRXサーバーをインストールするには、BeingCabinetのインストールとBeingCabinetをインストールしたパソコンにネットワーク版のキャビネットプロテクトの装着が必要です。キャビネットプロテクトは1個のみ装着して下さい。

- ◆GaiaRXスタンドアロン版がインストールされている場合、スタンドアロン版のアンインストールを行い、スタンドアロン版データをGaiaRXサーバーに移行するかの確認メッセージが表示されます。



[移行する]をクリックすると、(サーバー)工事、単価、歩掛などのデータをGaiaRXサーバーに移行します。  
(クライアント)工事データ、印刷フォーム、Excel帳票のみをGaiaRXクライアントに移行します。

※データの移行には制限事項があります。「[インストールFAQ 7. GaiaRXスタンドアロン版からのデータ移行の制限事項](#)」をご参照下さい。

[新規にサーバー版をインストールする]をクリックすると、新規にデータをインストールします。  
[キャンセル]をクリックすると、インストールを中止します。

## プロテクト形態の選択 (サーバーの場合)

積算システムのファイルコピーが終了すると、「プロテクト形態の選択」画面が表示されます。

ご利用になるプロテクト形態を選択します。

- ・インターネットプロテクト
- ・キャビネットプロテクト

[次へ]をクリックします。



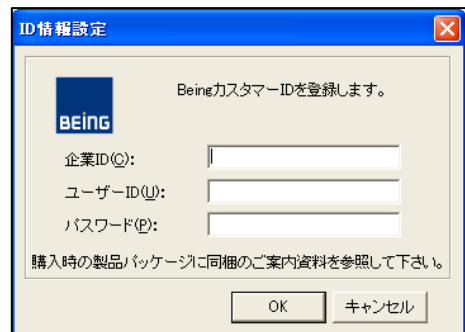
## ID情報設定 (サーバーの場合)

(インターネットプロテクト以外の場合は、表示されません)

「ID情報設定」画面が表示されます。

製品パッケージに同梱されているご案内資料をご確認頂き、「企業ID」「ユーザーID」「パスワード」を入力します。

[OK]をクリックします。



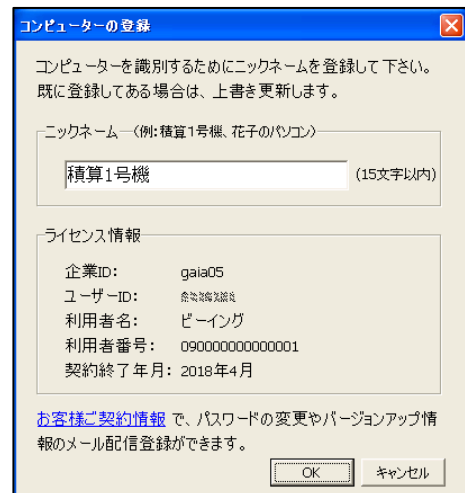
## コンピュータの登録 (サーバーの場合)

(インターネットプロテクト以外の場合は、表示されません)

「コンピュータの登録」画面が表示されます。

ニックネームを入力します。

[OK]をクリックします。



## BeingCabinetサーバー、GaiaRXサーバーの設定

サーバーの場合「BeingCabinetサーバーの設定」画面が、クライアントの場合「BeingCabinet、GaiaRXサーバーの設定」画面が表示されます。

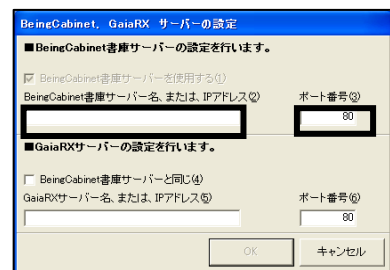
### <サーバーの場合>

「BeingCabinet書庫サーバー名、または、IPアドレス」、「ポート番号」を入力します。

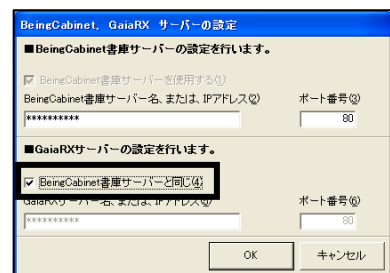


### <クライアントの場合>

「BeingCabinet書庫サーバー名、または、IPアドレス」、「ポート番号」を入力します。



◆ GaiaRXサーバーとBeingCabinet書庫サーバーが同じパソコンの場合「BeingCabinet書庫サーバーと同じ」にチェックを付けます。



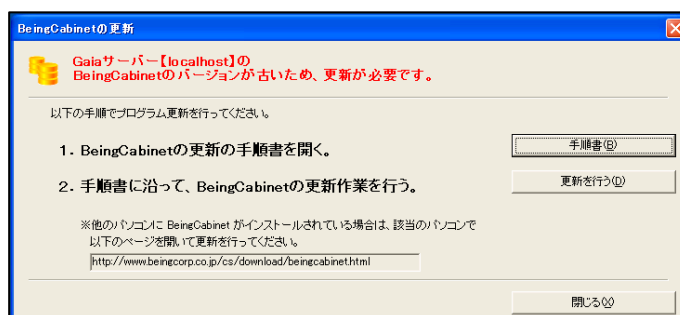
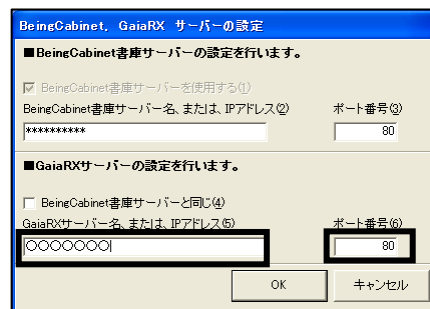
- ◆ GaiaRXサーバーとBeingCabinet書庫サーバーが違うパソコンの場合サーバーインストール時に控えていただいた(P. 9)「GaiaRX サーバー名、または IP アドレス」「ポート番号」を入力します。

#### 注意点

- ◆ GaiaRXネットワーク版の場合、BeingCabinetへの接続が必須です。チェックを外すことはできません。

- ◆ 「エラー12 Calling Sproinitialize」と表示される場合には、「インストールFAQ 9.プロテクトドライバをインストールする」をご参照のうえ、古いバージョンのプロテクトドライバを削除してから、プロテクトドライバのインストールを行って下さい。その後、GaiaRXのインストールを行って下さい。

- ◆ BeingCabinetが、インターネットプロテクト対応のバージョンではない場合、右図のメッセージが表示されます。GaiaRXのインストールを中断し、BeingCabinetの更新を行って下さい。



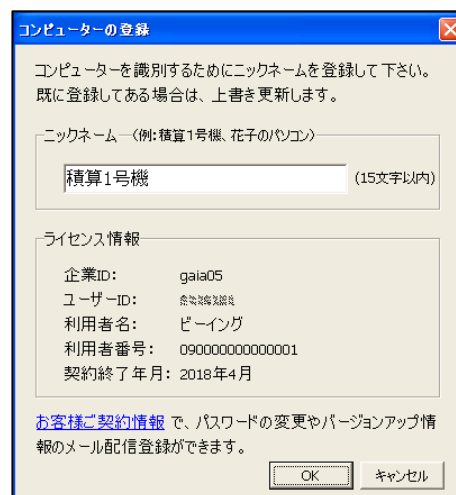
#### コンピュータの登録(クライアントの場合)

(インターネットプロテクト以外の場合は、表示されません)

「コンピューターの登録」画面が表示されます。

ニックネームを入力します。

[OK]をクリックします。

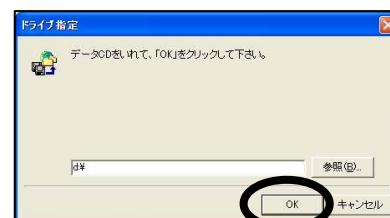


#### 標準データのインストール(サーバーのみ)



サーバーのインストールの場合は、続いて標準データのインストールを行います。

CDを「データCD」に入れ替え、[OK]をクリックします。以降は画面表示に従い、インストールを行います。



#### 注意点

- ◆ GaiaRXスタンドアロン版よりデータを移行する場合は、「ドライブ指定」画面は表示されません。
- ◆ クライアントのインストールの場合、「ドライブ指定」画面は表示されません。

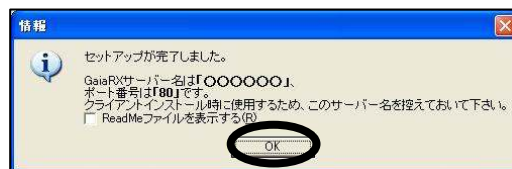


## 初期設定

データインストール終了後、インターネットプロテクト以外の場合、GaiaRXインターネット機能を使用する／しないを設定する画面が表示されます。

GaiaRX Ultimateでは、インターネット経由で最新のプログラム、データをダウンロードすることができます。また、サポートセンターに問合せを行う際、積算システムの情報をメールで送信することができます。ぜひ、インターネット機能をご利用下さい。

GaiaRXサーバーのインストールを行った場合、右図の画面が表示されます。以下にサーバー名(コンピュータ名)と、ポート番号を控えて頂き、[OK]をクリックします。クライアントのインストール時に必要です。



サーバー名(コンピュータ名)
----------------

ポート番号
-------

### ◆ReadMe ファイルについて

GaiaRX に関する説明、注意事項が書かれているファイルです。お読みになる場合は、チェックを付けて下さい。 ※ お読みいただくことをお奨めします。

## インストール終了

以上でGaiaRX Ultimateのインストールは終了です。

◆インストール終了後に、BeingCabinet 設定、インターネット機能設定を変更することができます。BeingCabinet のコンピュータを変更した場合などにご利用下さい。

Windows のスタートボタンから、[すべてのプログラム]→[GaiaRX]→[ツール]→[GaiaRX 初期設定]にて、行って下さい。

## 各種オプション、追加購入データのインストール

(任意)

追加でご購入いただいた各種オプション、データをインストールします。各CDをセットし、画面表示に従ってインストールを進めてください。詳しくは、各商品付属のインストールマニュアルをご参照下さい。

## GaiaRXがすでにインストールされている場合

### サーバー・クライアントのシステム更新

GaiaRX Ultimateはダウンロードにて最新のプログラムに更新できますが、システムCDからもシステム更新することができます。

詳細は、「インストールFAQ 3.GaiaRXがすでにインストールされている場合 ■サーバー・クライアントのシステム更新」をご参照下さい。



## データ更新

GaiaRX Ultimateはダウンロードにて最新のデータを導入できますが、CDからもシステム更新することができます。

詳細は、「インストールFAQ 3.GaiaRXがすでにインストールされている場合 ■データ更新」をご参照下さい。



ダウンロードにて最新のプログラムを更新する場合は、「インストールFAQ 11.ダウンロード手順」をご参照下さい。

## 参考

### よくあるエラー

何らかの原因で予期せぬエラーが起きた場合、エラーメッセージが表示されることがあります。詳しくは、「インストールFAQ 12.よくあるエラー」をご参照下さい。

### 旧システムからのデータ移行

土木工事積算システムGaiaMX・Gaia21で使用していた工事や単価データなどを、GaiaRXで使用できるよう各種データの移行を行います。

歩掛データ移行については、お近くの販売店までお問い合わせ下さい。

詳しくは、「インストールFAQ 8.GaiaRXにてGaiaMX・Gaia21のデータを使用する」をご参照下さい。

### 商標について

- Gaia, GaiaRX, GaiaMX, Gaia21, BeingCabinetは、株式会社ビーイングの登録商標または商標です。
- Windows, Windows Server, Windows Vista, Windows7は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Pentium, Intel Core2 Duoは、米国およびその他の国における、Intel Corporationまたはその子会社の商標または登録商標です。
- Sybase, SQL Anywhere, Adaptive Server, Anywhereは、米国法人Sybase, Inc.の登録商標です。